

●使うところと節約するところのメリハリが効いた“消費スタイル”

限られた支出から最大限の満足を引き出すというコストパフォーマンス意識は、なにも若者に限ったものではない。しかし、1990年代後半から続く“節約の時代”のなかで、若者たちのコストパフォーマンス重視の姿勢は先鋭化したというのも自然な成り行きだろう。

「青春18切符」や高速バスで移動し、漫画喫茶やインターネットカフェに泊まり、可能な限りの予算を買い物に充てるといった旅行スタイルも決して珍しいものではないようだ。

